

# 布良で誕生した名画を考える

27 館山で  
日 青木繁《海の幸》フォーラム

明治期の洋画家、青木繁の代表作「海の幸」誕生の聖地として館山市布良に残る小谷家住宅の保存運動に取り組む、「青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会」(嶋田博信会長)が27日、南

総文化ホールに関係者を迎え、「青木繁《海の幸》フォーラム」を開催する。基調講演やパネルディスカッションをおして、明治の漁村で誕生した名作「海の幸」を考える。

青木繁が布良を訪れて今年で110年を迎える。同会の地道な活動により、その節目の年に小谷家住宅の修復工事も始まり、2年間の改修が終わる平成28年春には一般公開も予定されている。とはいえ、保存費用はまだ目標に達せず、引

き続き支援を呼びかけるとともに、青木繁の力を借りて館山の地域ブランドに磨きをかけよう、とフォーラムを企画した。フォーラムは午後1時半から小ホールで、第1部では、小谷家当主の小谷福哲さん、「海の幸」をテーマに基調講演。第2部では、女子美術大学の吉武研司教授、労働大臣認定カラスキャナー1級技能士で「海の幸」複製画を制作した島田吉廣

さん、NPO法人安房文芸化遺産フォーラム代表の愛沢伸雄さん、同事務局長の池田恵美子さんがパネリストとして登壇。「明治の漁村・富崎から《海の幸》誕生を探る」をテーマにディスカッションする。参加費無料(資料代300円)で、多くの来場を呼びかけている。

また、このフォーラムに続いて8月5日から、渚の博物館と館山市コミュニティセンターで、青木繁「海の幸」オマージュ展が開催される。銀座・京都・福岡・田園調布と並んで館山展として開かれるもので、著名な美術家の作品が一堂に会

2014.7.16  
朝日新聞

はまた目標に達せず、引

同和色紙の小谷家で、青木繁が「海の幸」を描いた110年...  
青木繁《海の幸》フォーラム

会場 千葉県南総文化ホール小ホール  
時間 13:30~16:00 定員 300名  
参加費無料 資料代300円

平成28年  
7/27  
(日)

基調講演 「青木繁を通してみる文学と美術の交流」  
森山 秀子 氏 (文藝春秋編集委員)

「明治の漁村・富崎から《海の幸》誕生を探る」  
小谷 福哲 氏 (資料提供者)  
吉武 研司 氏 (NPO法人労働大臣認定カラスキャナー1級技能士・労働大臣認定カラスキャナー)  
島田 吉廣 氏 (NPO法人複製文化遺産フォーラム代表・複製文化遺産制作)  
愛沢 伸雄 氏 (NPO法人安房文芸化遺産フォーラム事務局長)  
池田 恵美子 氏 (NPO法人安房文芸化遺産フォーラム事務局長)

小谷家住宅の公開見学日  
(申し込み要) 観覧料(観覧料200円)  
7月25日(土) 10:00~15:00  
8月23日(土) 10:00~15:00  
8月24日(日) 10:00~15:00

青木繁《海の幸》オマージュ展・館山展  
8月5日(日)~31日(日) 渚の博物館  
8月5日(日)~24日(日) 館山市コミュニティセンター

事務局: NPO法人安房文芸化遺産フォーラム  
TEL 0494-52-9201 FAX 0494-52-9202

フォーラムのPRチラシ